

The Lung

神戸大学大学院医学研究科
呼吸器内科学

第1巻 第2号

発行:650-0017神戸市中央区楠町7-5-1

神戸大学大学院医学研究科呼吸器内科

TEL:(078)382-5846 FAX:(078)382-5859

http://www.med.kobe-u.ac.jp/resp/index.html

ごあいさつ

「救護班として石巻市立鹿妻小学校に行ってきました」

准教授 西村 善博



東日本大震災の被災者の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、お亡くなりになられた方々へ心からのお悔やみを申し上げます。

西日本では、震災支援として「関西広域連合」という卓越した手法がとられ、兵庫県は鳥取県、徳島県と共に宮城県を支援することになりました。神戸大学病院は、兵庫県内の災害拠点病院群の一つとして県立病院群と共に石巻市鹿妻小学校にある救護所を担当し、私も4月8日より12日まで神戸大学病院救護班第1班として派遣されました。私は大学院生時代に東北大学第一内科に国内留学の経験があり、この地方への思い入れが強く、派遣を志願したものです。

石巻赤十字病院を中心とした医療支援が系統立って行われ、そのリーダーシップには敬服しました。避難所ではパンとおにぎりや炊き出しの生活が長く、栄養状態の悪化、上下水道が復旧していない中での感染症防止の困難さを特に実感しました。救護所で1日に約100名の患者さんを診療しましたが、尿検査もできない、五感を駆使した診療でいい経験をさせていただきました。胃腸炎症状、咳嗽の訴えが多く、殊に「咳」は喘

息、COPDに関連していそうな患者さんも多く、呼吸器科医としては働きがいがありました。やっぱり、内科医で良かったなあと痛感したものです。

さて、呼吸器内科ニュースレター2号目の呼吸器内科の話題として、新人(笠井、立原、田村、徳永、日下部)の紹介、呼吸の日記念市民公開講座および米国胸部疾患学会報告をさせていただきます。呼吸器診療に益々努力をしているところですが、先生方のご支援、ご協力を何卒よろしく御願いたします。



目次:

ごあいさつ	1
新医局員紹介	1
「呼吸の日」の報告	2
睡眠呼吸管理部門から	2
ATS報告	2
呼吸器内科外来案内	2

新医局員紹介

今年度より新しく呼吸器内科の医局メンバーとして一緒に仕事をしている5人の紹介です。

教員として笠井、立原、大学院生として田村、医員として日下部、徳永が加わりました。何卒よろしく御願いたします。



新医局員より一言

笠井大介(特命助教)

今年より大学に戻ってきました笠井と申します。H10年、長崎大学卒業です。現在までは、呼吸器内科一般と特に感染症分野の臨床を数多く経験してきました。今後ともよろしく御願いたします。

立原素子(特定助教)

18年ぶりに地元に戻ってきました。呼吸器疾患一般はもとより、肺癌などの悪性疾患の診断と治療を専門としています。

田村大介(大学院生)

4年ぶりに大学に復帰しました。この3年間は基礎的研究に専念しており色々な勤が鈍っておりますが大学ではそれを取り戻しつつ、今後何が出来るか考えていきます。

徳永俊太郎(医員)

3年間、愛仁会高槻病院で勤務していました。感染症と緩和ケアに興味を持って取り組んでいます。研修医や学生に囲まれた環境ですので、教えつつ学ぶということを頑張りたいと思います。

日下部祥人(医員)

呼吸器疾患は重症感染症のような緊急性を要し、集中的な治療を必要とする疾患が目を見ますが、そんな病気の影にCOPDや喘息といった日常の管理が大切な疾患がかかっていることも多々あります。あらゆることに専門性を持ったスタッフがそろっている場所でそうしたことも含めた医療を学べればと思います。

「呼吸の日」記念市民公開講座を開催しました。

「呼吸の日(5月9日)」を記念して、日本呼吸器学会近畿支部主催で市民公開講座を開催しました。

COPDと喘息をテーマに、神戸中央市民病院の富井啓介先生と柏原赤十字病院の片山寛先生にそれぞれ講演を行っていただきました。講演後には参加いただいた市民の方々から活発な質問が飛び交い、これらの病気に関心を持って頂けたと思います。

また、特別企画として長野オリンピック金メダリストであり、喘息患者でもある元スピードスケート選手の清水宏保さんに、「アスリートと喘息」というテーマで、自らの喘息治療経験を語っていただきました。喘息を患いながらもアスリートとして活躍された清水さんに勇気付けられた方や「自分をコントロールすることの大切さを教わった」と治療への意欲を掻き立てられた患

者さんなどがおられました。

参加いただいた市民の方は100名に満たない程度ではありましたが、講演後のアンケートでは皆さん、大変満足されたようで、主催した我々も喜んでおります。



日本呼吸器学会近畿支部主催
「呼吸の日」
記念市民公開講座
なくそう喘息、気づこうCOPD
～「ぜんそく」ってどんなもの? 「COPD」ってなに?～

講演
「せき、たん、息切れは要注意。COPDは重大な生活習慣病」
富井啓介(神戸市立医療センター 中央市民病院呼吸器内科部長)
「吸入ステロイド、続けることがあなたの喘息死を予防」
片山寛(柏原赤十字病院院長)

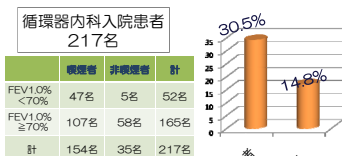
特別企画:対談
「アスリートと喘息」
清水宏保(長野オリンピック スピードスケート金メダリスト)
西村善博(神戸大学大学院医学研究科 呼吸器内科学 准教授)

先着30名
あなたの肺年齢は? 肺年齢測定実演
当日12:30より受付

開催日時 平成23年5月8日(日)
13:00~18:00
開催場所 兵庫県医師会館 大ホール

COPDの早期発見を!

COPD疫学調査



アメリカ胸部疾患学会(ATS)で発表してきました。

『循環器疾患患者におけるCOPDの有病率』

河 良崇

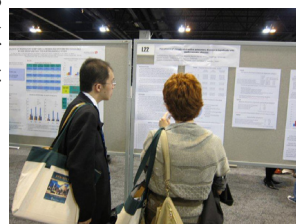
米国のデンバーで開催されたATS2011でポスター発表を行ってきました。

循環器内科との共同研究で、循環器内科入院患者を対象に、COPDに関するアンケートと対象者全員にスパイログラム検査を実施した結果報告です。

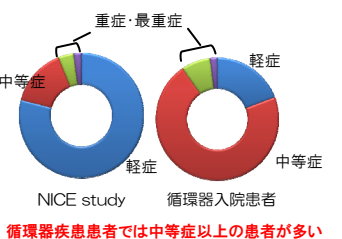
循環器患者は喫煙率が高いことや比較的高齢者が多いことから、COPDの合併が多いことを予想し、当研究を行いました。循環器疾患患者のうち、特に喫煙者では30.5%と高頻度に閉塞性換気障害を合併していました。しかし、これらの患者のうち、閉塞性換気障害と診断されていた患者割合はわずか3.8%に過ぎませんでした。

閉塞性換気障害の重症度を見たところ、一般の成人を対象に行われたCOPDのスクリーニング調査(NICE study)と比較して、より重症の閉塞性換気障害を有する患者割合が高いことも明らかになりました。

開催国の米国では循環器疾患の罹患率が高く、循環器患者におけるCOPD有病率の高さに関心を示す参加者がたくさんおられました。お陰で多くの質問を受けることができました。



COPD疫学調査



The Lung

神戸大学大学院医学研究科呼吸器内科学

電話 078(382)5846

FAX 078(382)5859

Email: <http://www.med.kobe-u.ac.jp/resp/index.html>

肺がんから「せき」「息切れ」まで
何でもご相談下さい!



呼吸器内科外来のご案内

	月	火	水	木	金
午前診	18診 初診 畠山	初診 *担当医	初診 笠井	初診 田村	初診 河
	3診 肺癌 小谷	呼吸器一般 西村	SAS 石川	呼吸器一般 小林	肺癌 船田
午後診	18診 COPD 喘息 小林		禁煙 新家	肺癌 小谷	COPD 喘息 新家
	3診 退院患者 日下部		間質性肺炎 船田	退院患者 徳永	SAS 樋木